



# 防衛装備庁

「防衛装備品」というと、あなたは何を思い浮かべるでしょうか。  
戦車、護衛艦、戦闘機、ミサイルといった大型のものから、迷彩服、食糧、燃料まで、  
自衛隊の運用にとって、防衛装備品は切り離せない重要なものです。  
防衛装備庁は、防衛省の外局として設置され、装備品等の開発や生産のための産業基盤の強化を図るとともに、  
研究開発、調達、及び管理の適正かつ効率的な遂行並びに国際協力の推進を図ることを任務としています。

行政職約900名、研究職約550名、自衛官約400名の約1850名の職員が勤務しております。(令和6年1月現在)



## 主な業務内容

### 政策の企画・立案業務【事務系】

防衛装備政策を担う部署で、装備移転や産業基盤の強靱化を推進するため、法令や各種施策の策定、国会対応業務等を実施しています。防衛装備品に関する政策を通じて、国防に貢献することができます。

### 装備品の調達業務【事務系】

自衛隊が使用する防衛装備品の調達業務を担う部署で、防衛装備品に係る契約・原価計算業務等を実施しています。飛行機や戦車など物理的にも予算的にも非常にスケールの大きい業務に関わることができます。

### 装備品の研究開発業務【技術系】

陸・海・空の自衛隊の装備品に加え、宇宙・サイバー・電磁波といった新領域において、既存の装備品の能力の向上や新たな装備品の創製のために研究開発を実施しています。業務を通じて、様々な最先端の技術に触れることができます。

## 採用後の処遇

### 勤務地

本庁(東京都新宿区)、研究所及び試験場等です。採用後は本人の希望や適性に応じて、2~3年のサイクルで人事異動を行っております。本庁内での部署異動、本庁と研究所等との異動及び他機関への異動等がございます。

### キャリアステップ

係員として採用され、行政官としての基礎を習得し経験を積んで、まずは主任や係長にステップアップします。また、語学や装備品の調達に係る様々な研修プログラムにより専門的なスキルを身に付けることができます。

## 先輩からのメッセージ

“防衛力そのもの”である防衛装備品に関わる業務を通じて、国防の一端を担っていると感じます。  
(令和5年入庁・一般職大卒程度、調達事業部輸入調達官付)

分からないことや不安なことはすぐに相談できる環境なので、とても働きやすい職場だと感じます。  
(令和5年入庁・一般職高卒者、長官官房人事官付)



【問合せ先】  
防衛装備庁長官官房  
人事官付採用担当

〒162-8870  
東京都新宿区市谷本村町5-1  
TEL:03-3268-3111 (内線: 35823・35824)

装備庁 採用情報



採用パンフレット、説明会のお知らせ等、  
詳しくは装備庁及び防衛省のHPをご覧ください

